

「缶」「ビン」「ペットボトル」のふたは 取り外してください



飲料水や調味料などのビン、ペットボトルのふたは、必ず取り外してからごみに出してください。集められたペットボトルやビンは、いろいろな用途に使える資源としてリサイクルされています。リサイクルする過程で、ふたが混入していると、取り除く手間が掛かるうえに、品質にも影響を与えます。



缶切りで開ける種類の缶は、ふたが本体につながっている場合は、そのままの状態でも缶の日に出すことができます。



缶、ビン、ペットボトルは、ふたを外して次のような状態でごみに出してください。

ふたを取り外せば資源です



【金属製のふた】

金属製のふたは「埋立ごみ」に出してください。



【プラスチック製のふた】

取り外したプラスチック製のふたは「燃やせるごみ」に出してください。

取り外したふたは
しっかり分別

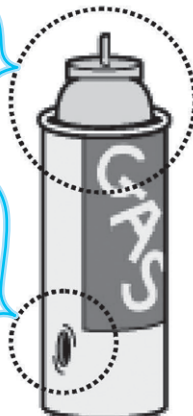
7月11日(水)埋立ごみの収集車の火災事故が発生しました。中身の残っているスプレー缶もあり、大事故の可能性もありました。



火災後の収集車内のごみ調査

ふたなどのプラスチック部分は外す

中身を使い切って、屋外の風通しの良い場所で穴を開ける



スプレー式の整髪料や殺虫剤、カセットコンロのガスボンベなどが誤って「埋立ごみ」等の日に出されると、収集車の火災事故や処理場での爆発事故などにつながる恐れがあります。
【中身を使い切る】【本体に穴を空ける】【缶の収集日に出す】を確実に実行し、収集車両の事故未然防止と安全な処理作業の推進にご協力をお願いします。

スプレー缶は「缶」の日